

介護過程論

《担当者名》高橋 由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

利用者の生活の質の向上にむけて、生活上の課題を把握し、それを解決していくために必要な介護のあり方を個別に考察し計画を立て、的確な情報収集やアセスメントの必要性を理解する。

【学修目標】

1. 個別ケアを実践するために、利用者の生活背景や心身の状況を多面的に理解し、介護過程におけるアセスメントの考え方を身につける。
2. 利用者の尊厳を尊重し、自立支援の視点に基づいた支援の方向性を判断できるように支援者としての視点を理解する。
3. 収集した情報を基に、利用者の能力や生活上の課題を関係づけて説明できる。
4. 自立支援・安全と安心・尊厳の保持の視点から、利用者の生活課題を判断し、表現できる。
5. 事例検討に参加し、多様な視点を踏まえたアセスメントを示すことができる。
6. 利用者を主体とした支援の方向性について、根拠を基に説明し、表現できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	評価方法などの説明。介護過程論 振り返り	高橋
2	アセスメント	利用者の能力など、どのような視点で捉えるか学ぶ	高橋
3	アセスメント	課題とは何なのか、対象者個別の課題とはどのようなもの学ぶ	高橋
4	アセスメント：事例検討	個人で事例のアセスメントを行う	高橋
5	アセスメント：事例検討	個人のアセスメントを基にGWを行い、様々な視点について学ぶ	高橋
6	支援の三つの視点	自立支援、安全と安心、尊厳の保持について学ぶ	高橋
7	人間関係形成の必要性について	自己理解・他者理解について学び、信頼関係を形成することの重要性を理解する	高橋
8	障がい者の支援	視聴覚教材から障がい者の生活背景、取り巻く制度について学ぶ	高橋
9	障がい者の支援	障がいについて、当事者や支援者の受容の背景を学ぶ	高橋
10	障がい者の支援	現在の社会で障がい者と共に生活する現状について学ぶ	高橋
11	高齢者の現状と支援について	高齢者の生きてきた時代の生活背景についての理解する	高橋
12	高齢者の現状と支援について	高齢社会における諸問題について学ぶ	高橋
13	高齢者の現状と支援について	認知症の理解	高橋
14	高齢者の現状と支援について	地域で支えるケアについて学ぶ	高橋
15	援助技術としてのコミュニケーション	コミュニケーション方法について理解する	高橋
16	援助技術としてのコミュニケーション	コミュニケーション方法について理解する	高橋
17	事実のと捉え方	情報収集の際、どのように事実を捉えるか、客観的把握の理解する。どのように記録するのか、記録の仕方を理解する。支援者が把握すべき利用者の能力について理解する	高橋
18	事実のと捉え方	情報収集の際、どのように事実を捉えるか、客観的把握の理解する。どのように記録するのか、記録の仕方を理解する。支援者が把握すべき利用者の能力について理解する	高橋
19	事実の捉え方	情報収集の際、どのように事実を捉えるか、客観的把握の理解。どのように記録するのか、記録の仕方を理解する。支援者が把握すべき利用者の能力について理	高橋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		解する	
20	事例検討(グループ)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、グループでアセスメントを行い、課題の作成。発表、検討をする。	高橋
21	事例検討(グループ)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、グループでアセスメントを行い、課題の作成。発表、検討をする。	高橋
22	事例検討(グループ)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、グループでアセスメントを行い、課題の作成。発表、検討をする。	高橋
23	事例検討(グループ)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、グループでアセスメントを行い、課題の作成。発表、検討をする。	高橋
24	事例検討(グループ)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、グループでアセスメントを行い、課題の作成。発表、検討をする。	高橋
25	事例検討(個人)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、個人でアセスメントを行い、課題を作成。発表、検討をする。	高橋
26	事例検討(個人)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、個人でアセスメントを行い、課題を作成。発表、検討をする。	高橋
27	事例検討(個人)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、個人でアセスメントを行い、課題を作成。発表、検討をする。	高橋
28	事例検討(個人)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、個人でアセスメントを行い、課題を作成。発表、検討をする。	高橋
29	事例検討(個人)	事例を基に情報収集を行う。把握した情報から、個人でアセスメントを行い、課題を作成。発表、検討をする。	高橋
30	まとめ	介護過程論 の振り返り、介護過程論 にむけて	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(筆記試験)50% 発表30% 提出物20%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新・介護福祉士養成講座9 介護過程』第2版 中央法規 2022

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護過程」に該当する。

【学修の準備】

講義ごとに次回のテーマについて伝えるので、事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。また、分からない語句等は調べておくこと。(予習2時間)

授業終了後に提示した課題について調べ、要点をまとめておくこと。(復習2時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3.社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門職領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

介護福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践教育を行う。